

図書館ミニ展示「震災から2年、いざというときに備えて」

東日本大震災（2011年3月11日）より2年が経ちます。図書館ではその間、積層書庫への図書落下防止器具の設置、本棚への図書落下防止テープの取り付け、現在は4～9階および積層書庫の耐震工事を行っています。今回の展示では、日頃より各自で行える震災への備えや、防災などについて考えられる資料を集めました。

2013/2/28

請求記号	書名	著者名	出版年	出版社
369.3//F56	脱近代(ポスト・モダン)時代の災害危機管理の考え方とあり方：自助と連携でつくる安全・安心：講演録	藤江 俊彦	2010.3	関東建設弘済会
369.3//N37	防災コミュニティ：現場から考える安全・安心な地域づくり	中村 八郎	2010.4	自治体研究社
369.3//Y45	自然災害ハンドブック：災害時のパニックを避け、大切な命を守るために!	山と溪谷社	2011.5	山と溪谷社
369.31//D81	地震災害マネジメント：巨大地震に備えるための手法と技法：土木学会地震災害マネジメントセミナー10年の軌跡	土木学会地震工学委員会地震防災技術普及	2010.8	建設教育研究推進機構
369.31//Mu41	東日本大震災の教訓：津波から助かった人の話	村井 俊治	2011.8	古今書院
369.31//N71	震災復興：日本経済の記録	日本経済新聞社	2012.2	日本経済新聞出版社
369.31//Sh69//11	文化遺産の保全と復興の哲学：自然との創造的関係の再生	中川 武	2012.4	早稲田大学出版部
369.31//Sh69//13	三陸にジオパークを：未来のいのちを守るために	高木 秀雄	2012.4	早稲田大学出版部
369.31//Sh69//5	地方自治体は重い負担に耐えられるか：「民」の力を結集する方法	小林 麻理	2011.12	早稲田大学出版部
369.31//Sh69//8	復興政策をめぐる《正》と《善》	鈴木 興太郎	2012.1	早稲田大学出版部
369.31//So75	3.11複合被災	外岡 秀俊	2012.3	岩波書店
369.31//Ta63	地震と防災：“揺れ”の解明から耐震設計まで	武村 雅之	2008.8	中央公論新社
369.31//Ta64	日本大災害の教訓：複合危機とリスク管理	竹中 平蔵	2011.12	東洋経済新報社
369.31//Ta84	大津波を生き抜く：スマトラ地震津波の体験に学ぶ	田中 重好	2012.12	明石書店
369.31//To25	聞き書き震災体験：東北大学90人が語る3.11	東北大学震災体験記録プロジェクト	2012.3	新泉社
369.31//To35	震災と情報：あのとき何が伝わったか	徳田 雄洋	2011.12	岩波書店
369.31//U15	大震災のなかで：私たちは何をすべきか	内橋 克人	2011.6	岩波書店
369.31//W46	都市住民のための防災読本	渡辺 実	2011.7	新潮社
453.21//Ts41	千年震災：繰り返す地震と津波の歴史に学ぶ	都司 嘉宣	2011.5	ダイヤモンド社
453//H52	なぜ起こる?巨大地震のメカニズム：切迫する直下型地震の危機	編集工房SUPER NOVA	2008.1	技術評論社
519.9//D81	これからの安全・安心：災害情報を生かす	土木学会誌編集委員会	2008.3	土木学会
雑誌	日経woman. 343(2012年9月)号 記事「大震災に備える！働き女子の防災マニュアル」		2012.9	日経BP社
雑誌	AERA臨時増刊. 18(2012.4.25)号「震度7を生き残る」		2012.4	朝日新聞出版

図書館の震災から復旧まで

2011年	
3月11日 (金) 14時46分	<p>「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生 震源：三陸沖 マグニチュード9.0 震度：7＝宮城県栗原市宮城県 5弱＝坂戸市〔ほか〕(参考：気象庁HP)</p> <p>◇図書館入館者数(当日総数)186名。負傷者0名。 ◇利用者を館外へ避難誘導、ひざ掛けを配布。 ◇職員も一時館外避難。</p>
同日夕刻 同日夜	<p>◆図書館を臨時閉館。 政府が福島県の一部に原子力災害対策特別措置法に基づく避難指示。</p>
3月14日	◇通勤可能職員により状況確認。※半数以上の職員は計画停電による電車不通で来館できず。
3月16日	◇野球部学生13名による復旧補助。 (シラバスルーム等の落下図書整理)
3月18日	◇職員全員が通勤(震災後初)。
同日以降	◇本格復旧作業開始。 ◇教職員(図書館以外)による復旧補助(落下図書整理)
3月28日～29日	◇学生アルバイト68名×2日間による復旧補助。 (積層書庫の落下図書整理)
4月1日	政府が震災の名称を「東日本大震災」に閣議決定。
4月14日	◆図書館 部分/短縮開館。 (利用場所：1～3階。開館時間：9～平日19時)
4月20日	入学式
4月22日	授業開始 ◇「図書館災害復旧対策委員会」設置
6月27日	◆4～6階を開室(～7月末の前期試験期間)。
8月9日	◇積層書庫への落下防止器具を取り付け完了。
12月1日	◆開館時間を通常に戻す。(9～平日21時)。
2012年	
1月10日	◇4～6階を開室(～2月10日の後期試験期間)。
1月25日	◆9階を開室(～2月10日の後期試験期間)。
2月16日	◇2、3階の書棚に図書落下防止テープを取り付け。
2012～2013年	
11月29日～ 3月末予定	◇4～9階および書庫の耐震工事(実施中)

臨時閉館から数えて

4～6階開室まで
短縮開館終了まで
9階開室まで
図書館開館まで

34日間

108日間

265日間

302日間



全階で資料が落下。書架(棚)の破損はなし。

地震直後は漏水なども発生

3階シラバスルーム

復旧させた図書が、余震で落ちそうになることも。

地震の時は棚から離れること！

落下資料は、図書館職員全員で、手作業により復旧。一冊ずつ正しい配架順に戻していきました。

とりわけ、積層書庫は足の踏み場がないほど資料が落下しました。

現在は資料落下防止器具を設置

学生アルバイトの方々(延べ149名)により、作業が大幅に進みました。ありがとうございました。

地震が発生した場合には
 ①すぐに本棚から離れる。②身の安全を確保。
 ③館内放送・誘導に従う。④避難場所はグラウンド